



自治労音協通信

第72号

2011年5月20日発行

発行責任者 会長 磯野 友一
編集責任者 事務局次長 小川 典子



第44回はたらくものの音楽祭IN高松！

テーマ 瀬戸に響け、いのちの歌

7月2日～3日「香川県民ホール」
(アルファあなぶきホール)小ホールで開催



自治労音楽協議会は、東日本大震災で亡くなられた方々に心より哀悼の意をささげます。また、被災された方々そして放射能の恐怖に今もさいなまれている福島県民やその周辺の方々と共に一刻も早い原発事故の修復を要求します。また、すべての原発の廃止を要求します。

日本音楽協議会は、第44回はたらくものの音楽祭を、7月2日(土)午後1時30分から3日(日)香川県民小ホール(アルファあなぶきホール)で開催します。

「瀬戸に響け、いのちの歌」をテーマに四国で初めての開催となります。

●役員体制(三役)

【中央実行委員会】

実行委員長 飯島貞親(日音協会長)

副実行委員長 磯野友一(日音協副会長)

事務局次長 松本敏之(日音協事務局次長)

事務局次長 高田良徳(香川県実行委員会事務局次長)

【香川県実行委員会】

実行委員長 小川 俊(連合香川)

副実行委員長 宝田公治(連合香川)

副実行委員長 進藤龍男(連合香川)

事務局次長 高田良徳(香川県協議会議員)

事務局次長 小島重俊(連合香川)

事務局次長 細川 剛(日音協)

会場 香川県民ホール
(アルファあなぶきホール)小ホール

087-8233131

●出演申込

日本音楽協議会

FAX 03-3221-1822

千代田区西神田2の7の6

川合ビル37号

インターネットメール

nichion@yomogi.or.jp

*出演時間は1単位6分とします。

●全国交流会

全国の仲間の交流を図るため、全国交流会を開催します。

(1)日時 7月2日(土) 19時～21時(予定)

(2)会場 オークラホテル高松10F

ビアホール

(3)会費 ひとり3500円

(4)申込方法 日音協へ

締切 6月17日(金)まで

●音楽祭 開催日程

7月2日(土)13時～3日(日)13時まで

7月1日(金)13時～20時仕込み

7月2日(土)10時半～12時リハーサル

7月2日(土)13時～18時大音楽会1

7月2日(土)19時～21時全国交流会

7月3日(日)10時～13時大音楽会2

7月3日(日)13時半～14時半合評会

第43回はたらくものの音楽祭自治労音協合唱風景



♪ 事務局からのお知らせ

みなさまからの投稿をお待ちしています！

E-Mail:jicogawa@jca.apc.or.jp 住所変更は必ずお知らせください！

『自治労音協ホームページ』 <http://www.jca.apc.or.jp/~jicogawa>

『自治労と音楽のページ』 <http://www3.ocn.ne.jp/~tmtatsu>

『日本音楽協議会』 <http://www.yomogi.or.jp/~uncle>

(通算24回)

第3回自治労音協コンサート

『高松市文化芸術ホール(サンポート) アートヴィレッジ』で開催

■開催日 7月1日(金) 午後6時～8時
■場所 「高松市文化芸術ホール (サンポート) アートヴィレッジ」

*ホール棟最上階7Fのリハーサル室

[http://www.sunport-](http://www.sunport-hall.jp/shi-setu/artvillage.htm)

[hall.jp/shi-setu/artvillage.htm](http://www.sunport-hall.jp/shi-setu/artvillage.htm)

■参加費 500円

■スケジュール

仕込み 午後4時～

リハーサル 午後5時～

「簡単な音出しと楽器の音量調整のみ」

受付 5時30分～

■出演申込み

出演をご希望の会員は、事務局まで

メール jicogawa@jca.apc.org

ファックス:自治労東京小川宛

FAX 03-5333-8981

電話 03-5333-8988

報告内容

出演団体または個人名

演奏曲目(作詞者・作曲者)

出演者プロフィール

使用楽器、マイク本数

■内容

演奏は1チーム10分以内(出入り、紹介含む)ゲストには長野県青木ファミリ(真紅)を予定しています。



アートビレッジ、リハーサル室(ホール棟7F)



サンポート全景

<http://www.okurahotel-takamatsu.co.jp/>

7月2日の全国交流会の会場となる「オークラホテル高松」はインターネットで予約の場合通常6000円が4900円(朝食別料金1000円)となります。TEL 087-826-1222

●宿泊についてのご紹介

*伴奏は茨城県の菊地さんを中心とするメンバー
●第19回自治労音協総会 7月1日(金) 8時30分、コンサート終了後、交流会会場「黒船屋」で開催します。会費3500円、高松市北浜3-2alley 2F、087-826-13636

●発表時間 7月3日(日) 午後11時44分頃

●発表時間 7月3日(日) 午後11時44分頃

●発表時間 7月3日(日) 午後11時44分頃

●発表時間 7月3日(日) 午後11時44分頃

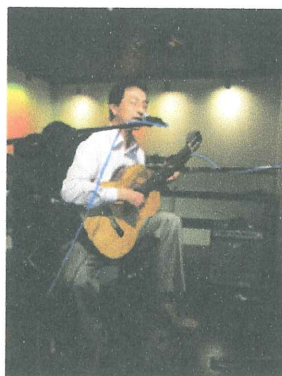
●発表時間 7月3日(日) 午後11時44分頃



茨城から来ました『WEED』



滋賀県支部『だんがいず』のメンバー



オリジナルを発表する実行委員会の山本英二さん



Baby★Babaの熱唱(実は山本さんの弟さんです)



沖縄那覇市職労の山城・嘉数さん(どしゃぶりの5.15普天間包囲行動では大活躍)



いつもスマイルの松本口音協事務局長

★昨年の新潟まちなかステージでの演奏風景

♪Yes I do

京都市東山区祇園縄手通末吉東入南側
井みねビル4F

TEL 075-531-5737 H・P 090-2040-2074

日音協近畿の井戸久喜さんが ライブパブを始めました。京都にお立ち寄りの際にはお越しください。

高松築港付近 案内図

●自治労音協コンサート会場 **サンポート「アートヴィレッジ」**
ホール棟7Fのリハーサル室

R高松駅に面している「通称サンポートと呼ばれる複合施設、コンサート大・小のホール、イベント広場、7F建てタワー（リハーサル室、練習室、会議室）、飲食等の商業施設などを併設。高松市文化芸術財団が運営。

●音楽祭会場 **香川県民小ホール**

高松城跡の玉藻公園に面している、県の施設。通称「アルファあなぶきホール」と呼ばれている。



●サンポート高松

財団法人高松市文化芸術財団
〒760-0019 高松市サンポート2-1
高松シンボルタワー・ホール棟2階
TEL: 087-825-5000 FAX: 087-825-5040
2005年5月 四国最大級の複合施設、高松シンボルタワーに誕生した新市民会館「サンポートホール高松」
JR高松駅より徒歩2分

サンポート「アートヴィレッジ」屋上広場より多島美の瀬戸内海を望む



●アルファあなぶきホール(香川県民ホール)

〒760-0030 香川県高松市玉藻町9-10
TEL: 087-823-3131 FAX: 087-823-3124
高松中央インターから車で15分
高松西インターから車で20分
JR高松駅より徒歩8分
琴電高松築港駅より徒歩8分
高松空港より車で約30分

あなぶきホール全景



CD収録曲の音源募集します！

「自治労仲間の歌」入選曲の作者、または自作のオリジナル曲以外でも作者の了解があればOKです。生テープ、デジタル音源など何でも、桃井事務局長に郵送してください。

☆音源はこちらまで

桃井雅和の連絡先

《住所》〒311-3125 茨城県東茨城郡茨城町下石崎565

《E-Mail》momoi@olive.ocn.ne.jp

※5Mオーバーの大きいファイルの場合は、事前にご相談ください。

2011年度役員体制(案)

会長	磯野 友一(富山)
副会長	桑野 功(北海道)
同	細川 剛(香川)
同	松本 敏之(栃木)
幹事	(ブロック選出)
同	榎原 隆子(北海道)
同	井加田まり(北信)
同	高野 直美(東北)
同	鳴澤 庸夫(関東甲)
同	中山 順二(東海)
同	西藤 安彦(近畿)
同	島田 万里江(中国)
同	三好 康夫(四国)
同	山城 文雄(九州)
事務局次長	桃井 雅和(茨城)
事務局次長	小川 典子(東京)
事務局次長	菊池 正彦(茨城)
事務局次長	古谷 昌代(滋賀)
事務局次長	新

「原発で被災した町からの発信」

福島県田村郡三春町は、桜の花が咲き乱れ、お寺も多く、こじんまりした、穏やかでとても美しい町です。

放射能のことさえ忘れてしまえば、昨日と今日は何も変わらず、同じ時間が流れているかのように思われ、眼に見えない放射能被害の恐ろしさを認識し、避難することは、如何に困難かということを知られました。

見た目、家屋にはなんの損傷もみられず、そこにはいつもと変わらぬ自宅もあり、生活の糧を得る基盤となっている日常生活があるという状況下で、人々は、移住の決断ができるのだろうかとのこととして考えると本当に苦渋の選択だと思いました。

三春町は、郡山市や福島市に比べると、原発からの距離は近いにもかかわらず、空間線量も比較的低い値で、放射能汚染は、同心円的に拡散するものではないことを改めて認識しました。自動車に搭載している線量計は、ある地区は、とても強く汚染されていたり、200mも離れると、半減していたりで、汚染度はまだらで、きめ細かい測量が必要のように思えました。

郡山市では、開成山公園は、地面1mで2,22マイクロシーベルト、1cmで2,5マイクロシーベルトととても強く汚染されていました。2,28マイクロシーベルトで、年間被曝量に直せば、20mmシーベルトですから、原発従事者の年間限度量20mmシーベルトを越えていました。

長年、反原発の運動をしてきたMさんところには、言いたいことが言えない状況で、多くの人が相談や今の心境を語りにきます。

小学校の女性教員の方から聞いたお話は、とてもショックだったので、少しその話を紹介します。彼女は、原発から20kmの少し外に自宅があり、原発の爆発のとき、地震で壊れてしまったサッシの窓を修繕するために屋外にいて被曝してしまったそうです。

彼女には、もう症状がでていて、水で顔を洗うと、チクチク、ヒリヒリと皮膚が痛み、物凄くだるいそうです。弟さんは、もう下痢が始まっていて、病院に通っているそうです。私は、原発の被曝で殺されるのかと思うと、死んでもでも死に切れない。彼女の勤める学校では、ある教員が、被曝を恐れて休職して、非難すると申し出たところ、同僚の教員からお前だけに逃げるのかと、罵詈雑言を浴びせられ、一言も発せず、学校を離れたあと、いなくなった彼の机を蹴っ飛ばす同僚もいたそうです。

学校の中でも、一人や二人しかこの事態をおかしいと思っている人がおらず、ほとんどは、文科省や教育委員会の説明を鵜呑みにしていて、おかしいのではないかという人を、考えすぎと軽く片付けられてしまって、なかなか話もできず、一人悩んでいるそうです。

また福島では、長崎大学の山下教授が、放射能は怖くないという講演をいたるところでやっていて、そのためそれまでマスクを付けていた子供たちまで、マスクをはずしてしまうようになってしまったと嘆いていました。

またこの家庭でも、避難するべきか否かを巡って家庭内でも口論が絶えず、家族がばらばらになっているということでした。福島の人たちは、本当に大変な状況に追いやられていると思い、言葉もでませんでした。



新地町新地駅そばの線路



塩害にも負けず咲くすいせん



水没した相馬市松川地区



全村民避難勧告の出た美しい飯舘村



「新地町思い出倉庫」に集められたアルバム



畜産の盛んな飯舘村の農家の牛

写真撮影 4月30日～5月1日 小川典子